安全データシート

この安全データシート は以下の要件に準拠し ている :
JIS Z 7253:2019, 日本

改訂日 08-4-2026 **改訂番号** 1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Cobalt AA Standard: 1000 µg/mL Co in 5% HNO3 [100ml bottle]

製品コード 5190-8277

登録番号 情報なし

安全データシート の供給者の詳細

供給者

アジレント ・テクノ ロジー株式会社
住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号
CHEMTREC®: 0800-300-5842

電子メールアド レス pdl-msds_author@agilent.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 分析化学研究所用の試薬および基準。 この製品は研究開発専用です。

推奨さ れない用途 推奨用途以外では使用し ないでく ださい

2. 危険有害性の要約

GHS 分類
日本政府によるGHS分類

金属腐食性化学品	区分 1
急性毒性(経口)	区分に該当し ない
急性毒性(経皮)	区分に該当し ない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当し ない
急性毒性(吸入) - 蒸気	区分に該当し ない
急性毒性(吸入) - 粉じ ん／ミ スト	区分に該当し ない
皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	区分 1
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介し た影響	授乳に対する又は授乳を介し た影響は

	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	区分に該当し ない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	区分 2
区分 2 呼吸器、 歯。	
誤えん有害性	区分に該当し ない
水生環境有害性 - 急性	区分に該当し ない
水生環境有害性 - 慢性	区分 3
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素



注意喚起語 危険

危険有害性情報

日本政府によるGHS分類
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
長期継続的影響によって水生生物に有害
長期にわたる、又は反復ばく 露による臓器の障害のおそれ
金属腐食のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく 露による以下の臓器の障害のおそれ: 呼吸器、 歯。

注意書き

安全対策

- 取扱い後は顔、手、露出し た皮膚をよく 洗うこと
- 【 換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること
- 汚染された作業衣は作業場から出さ ないこと
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること
- 粉じ んを吸入し ないこと
- 環境への放出を避けること
- 他の容器に移し 替えないこと

応急措置

- 気分が悪いときは, 医師の診察／手当てを受けること
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く 洗うこと。次にコンタクト レンズを着用し ていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- 直ちに医師に連絡すること

• 皮膚に付着し た場合: 多量の水と 石けん(鹸)で洗う こと
• 汚染さ れた衣類を 脱ぎ、再使用する 場合には洗濯をすること
• 皮膚刺激又は発し ん(疹)が生じ た場合: 医師の診察／手当てを 受けること
• 吸入し た場合: 空気の新鮮な 場所に移し 、呼吸し やすい姿勢で休息さ せること
• 呼吸に関する 症状が出た場合: 医師に連絡すること
• 物的被害を 防止するためにも 流出し たものを 吸収すること

保管

• 耐腐食性／耐腐食性内張り のある容器に保管すること

廃棄

• 内容物、容器を 国際、国、都道府県、及び市町村の規則に従って廃棄すること

他の危険有害性

情報なし 。

3. 組成及び成分情報

化学物質･混合物の区別 混合物

化学的性質 水溶液

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
硝酸	7697-37-2	4.5	既存	(1)-394	既存	(1)-394
コバルト	7440-48-4	0.1	対象外	-	情報なし	

追加情報

当製品は、発がん性区分2 に分類さ れる成分を0.1%以上1.0%未満含有し ている。 当製品は、生殖毒性区分1 、1 A、1 B、又は授乳に対する 又は授乳を 介し た影響のための追加区分に分類さ れる成分を0.1%以上0.3%未満含有し ている。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
該当し ない

労働安全衛生法
通知対象物質
法第5 7 条の2 、施行令第1 8 条の2 第1 号、第2 号別表第9 及び第3 号別表第3

表示対象物質
法第5 7 条第1 項、施行令第1 8 条第1 号、第2 号別表第9 及び第3 号別表第3

化学名又は一般名	CAS番号	区分	政令番号	含有率 %
硝酸	7697-37-2	表示対象物質	9-307	4.5

毒物及び劇物取締法	該当し ない

4. 応急措置

一般的なアド バイス	治療を 行う 医師にこのSDSを示すこと。 直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
吸入し た場合	空気の新鮮な場所に移すこと。 アレルギー性呼吸器反応を起こすおそれ。 呼吸が停止し ている場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。 皮膚に直接触れないよう にすること。口対口の人工呼吸を行う 際はバリアを使用すること。
皮膚に付着し た場合	直ちに石けん(鹸)と 多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 皮膚の炎症又はアレルギー性反応が認められる場合には、医師の診察を受けること。
眼に入っ た場合	直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。コンタクト レンズを着用し ていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 洗っている間は眼を大きく 広げたままにすること。 受傷部をこすらないこと。 直ちに医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 意識のない者には、何も口から与えてはならない。 無理に吐かせないこと。 アレルギー性反応を起こ すおそれ。 直ちに医師の診察／手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も 重要な徴候症状	灼熱感。 失明を引き起こすおそれがある。 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。 咳及び／又は喘鳴。 掻痒感。 発疹。 じんま疹。 アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手及び足の刺すような痛み、めまい、意識もうろう 、胸痛、筋肉痛又は潮紅が含まれる場合がある。 紅斑(皮膚の発赤)。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	皮膚、眼又は衣類と の接触を避けること。 医療者に物質の関与を伝え、自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。 皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う 際はバリアを使用すること。 指定された個人用保護具を着用すること。 詳細については項目8を参照。
医師に対する特別な注意事項	過敏な人に感作を引き起こすおそれがある。 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適し た消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱さ せないこと。
特有の危険有害性	製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。 吸入により 感作を引き起こすことがあ

る。 皮膚接触により 感作を引き起こすことがある。

特有の消火方法
大規模火災
水噴霧でドラムを冷却すること。
警告: 放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 指定された個人用保護具を着用すること。 人員を安全な区域に退避させること。 人員を漏出／漏えい(洩)の風上に遠ざけること。

緊急対応を行う者のための保護具
項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項
安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

封じ込め方法
安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法
せき止めること。 不活性吸収材料で吸収すること。 回収して適切に表示された容器に移すこと。 汚染された表面を十分に浄化すること。

二次災害の防止策
汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

その他の情報
項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項
産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 十分換気されているか確認すること。 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 保護眼鏡、不浸透性の保護衣、手袋及び／又は長靴を着用すること。

衛生対策
皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 休憩前及び作業後に手を洗うこと。 適切な手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。 機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。 汚染された衣類及び手袋は脱ぎ、再使用する前に内側を含めて洗濯すること。

保管

安全な保管条件

特定の保管方法や輸送時の温度条件については、製造者証明書を参照すること。 保証書内に他の指示がない限り は、もとの容器で保管すること。 容器を密閉して乾燥した涼しく 換気のよい場所に保管すること。 湿気を遮断すること。 施錠して保管すること。 子供の手の届かない場所に保管すること。 他の物質から隔離して保管すること。

8. ばく 露防止及び保護措置

設備対策

シャワー
洗眼場
換気システム。

許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
硝酸 7697-37-2	TWA: 2 ppm; TWA: 5.2 mg/m³;	-	TWA: 2 ppm STEL: 4 ppm
コバルト 7440-48-4	TWA: 0.05 mg/m³;	0.02 mg/m³	TWA: 0.02 mg/m³ inhalable particulate matter dermal sensitizer;respiratory sensitizer

生物学的許容値

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	ACGIH
コバルト 7440-48-4	3 µg/L - blood (Cobalt) - within 2 h prior to end of shift at end of work week 35 µg/L - urine (Cobalt) - within 2 h prior to end of shift at end of work week	15 µg/L - urine (Cobalt) - end of shift at end of workweek

環境ばく 露防止

いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入さ せないこと。

保護具

呼吸用保護具

適切な呼吸用保護具は、この製品の化学的性質、危険有害性及び使用法、ならびに現地当局の安全要件に従って選択し 、使用し なければならない。

手の保護具

ネオプレン™製の保護手袋を着用すること。 使用される保護手袋はEC指令89/686/EECの仕様および関連する標準(EU) 2016/425。 適切な手袋を着用すること。 不浸透性手袋。

眼及び／又は顔面の保護具

眼に入らないよう にする。 サイド シールド 付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。 顔面保護シールド 。 密封性の高い安全ゴーグル。 適切な眼保護具を使用すること。

皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。 長袖の衣類。 不浸透性衣類。 耐薬品性エプロン。 不浸透性の保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観	液体
物理状態	液体
色	無色
臭い	無臭
臭いのしきい値	情報なし

特性	**値**	**備考 • 方法**
融点／凝固点		情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲		情報なし
可燃性		情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		
爆発又は可燃の上限界		
爆発又は可燃の下限界		
引火点		情報なし
蒸発速度		情報なし
自然発火点		情報なし
分解温度		情報なし
pH		情報なし
粘度		
動粘性率		情報なし
動的粘度		情報なし
水への溶解度		情報なし
溶解度		情報なし
n ーオクタノ ール／水分配係数(log値)		情報なし
蒸気圧		情報なし
相対ガス密度		情報なし
相対密度		情報なし
粒子特性		
粒径		該当し ない
粒径分布		該当し ない

その他の情報

爆発性	情報なし
酸化性	情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし 。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 長期間にわたる空気又は湿気へのばく 露。

混触危険物質 酸化剤。 強酸。 強塩基。

危険有害な分解生成物 提供さ れた情報に基づき 知見なし 。

爆発データ
静電放電に対する感度 なし 。
機械的衝撃に対する感度 なし 。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

混合物のATE値は下記のとおり 算出さ れている

ATEmix(経口)	99,999.00 mg/kg
ATEmix(経皮)	99,999.00 mg/kg
ATEmix(吸入 −ガス)	99,999.00 ppm
ATEmix(吸入 −粉じん／ミスト)	99,999.00 mg/L
ATEmix(吸入 −蒸気)	58.90 mg/L

毒性の数値尺度 - 成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
硝酸	-	-	= 2500 ppm (Rat) 1 h ATE (vapours) = 2.65 mg/L
コバルト	= 6171 mg/kg (Rat)	-	< 0.05 mg/L (Rat) 4 h

略語及び頭文字
Rat: ラット

症状 咳及び／又は喘鳴。 呼吸困難。 発赤。 灼熱感。 失明を引き起こすおそれがある。 アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手及び足の刺すような痛み、めまい、意識もうろう 、胸痛、筋肉痛又は潮紅が含まれる場合がある。 掻痒感。 発疹。 じ

んま疹。 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。「 吸入」の項目に記載されている追加的影響を生じるおそれ。

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 過敏な人に感作を引き起こすおそれがある。(成分に基づく)。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 反復又は長期にわたるばく露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある。(成分に基づく)。 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。 皮膚刺激。

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 失明を含む非可逆性の損傷を引き起こすおそれがある。 重篤な眼の損傷。

皮膚腐食性／刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく 分類。 皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく 分類。 薬傷を引き起こす。 重篤な眼の損傷。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学名又は一般名	日本政府によるGHS分類	IARC
コバルト 7440-48-4	2	Group 2A

凡例

国際がん研究機関

グループ2A - ヒト に対する発がん性がおそらく ある

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく 露) 利用可能なデータ に基づき 、分類基準を 満たさ ない。 区分に該当し ない。

特定標的臓器毒性(反復ばく 露) 長期にわたる 、又は反復ばく 露による 臓器の障害のおそれ。

長期にわたる 、又は反復ばく 露による 以下の臓器の障害のおそれ: 呼吸器、 歯。

誤えん有害性 利用可能なデータ に基づき 、分類基準を 満たさ ない。 区分に該当し ない。

12. 環境影響情報

生態毒性 長期継続的影響によって 水生生物に有害。

化学名又は一般名	藻類／水生植物	魚類	甲殻類
コバルト	–	LC50: >100mg/L (96h, Brachydanio rerio)	–

残留性･分解性 情報なし 。

生態蓄積性 この製品のデータ はない。

成分情報

化学名又は一般名	分配係数
硝酸 7697-37-2	-2.3

他の有害影響 情報なし 。

この製品は、既知の内分泌かく 乱物質又は内分泌かく 乱が疑われる 物質を 一切含有し ていない。

化学名又は一般名	EU－REACH(1907/2006)－第59 条(1)－高懸念物質の認可対象候補物質リ スト	EU－REACH(1907/2006)－内分泌かく 乱作用評価対象物質リ スト	内分泌かく 乱の可能性
硝酸	–	–	–
コバルト	–	–	–

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

IMDG

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid)
説明	UN3264, その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid), 8, III
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	8
容器等級	III
特別条項	223, 274

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコード によるばら積み輸送される液体物質
情報なし

ADR

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid)
説明	UN3264, その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid), 8, III, (E)
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	8
容器等級	III
特別条項	274

IATA

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid)
説明	UN3264, その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid), 8, III
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	8
容器等級	III
特別条項	A3, A803
ERG コード	8L

国内規則
項目15を参照。 消防法、毒劇法、高圧ガス保安法、船舶安全法、航空法に該当する場合はそれぞれの規定に従う。

日本

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid)
説明	UN3264, その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの) (Nitric Acid), 8, III

国連分類(輸送における危険有害性クラス) 8
容器等級 III

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
該当しない
労働安全衛生法

製造禁止物質等
該当しない
製造許可物質等
該当しない
特定化学物質等(特化則)
特定化学物質(第3類物質)ー労働安全衛生法施行令別表第3(第6条、第9-3条、第21条、第22条関係、及び特定化学物質障害予防規則)
有機溶剤中毒予防規則
該当しない
危険物
該当しない
鉛中毒予防規則
該当しない
四アルキル鉛中毒予防規則
該当しない
特別管理物質
該当しない
表示対象物質
法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9及び第3号別表第3
通知対象物質
法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号別表第3
労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度
作業環境測定を行うべき作業場(労働安全衛生法施行令第21条及び作業環境評価基準 - 実行上の管理レベル)。 詳細な仕様については、SDSの項目8を参照。
安衛則第326条に基づく 腐食性液体
硝酸
安衛法−皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく 不浸透性の保護具等の使用義務物質
特化則等
安衛法 −濃度基準値設定物質
該当しない
有害物ばく露作業報告
該当しない
安衛則577ー2に基づく がん原性物質
該当しない
強変異原性物質

該当し ない

毒物及び劇物取締法
該当し ない
高圧ガス保安法
該当し ない
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)
該当し ない

化学兵器禁止法
該当し ない

国際インベントリー

TSCA	米国インベントリー(TSCA): インベントリーに記載。 40 CFR 720.36の目的上、この製品は研究開発(R&D)目的の使用に限定される。
DSL／NDSL	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
EINECS／ELINCS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
化審法インベントリ	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
IECSC	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
KECL	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
PICCS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
AIIC	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例:
TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト／非国内物質リスト
EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー／欧州新規届出商業用化学物質リスト
ENCS - 化審法既存物質
IECSC - 中国現有化学物質名録
KECL - 韓国既存化学物質インベントリー
PICCS - フィリピン化学品･化学物質インベントリー
AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

16. その他の情報

改訂日	08-4-2026
改訂記録	SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例
凡例 8: ばく 露防止及び保護措置

TWA	TW A(時間加重平均)	天井値	最大限界値
Sk*	経皮吸収	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

米国毒性物質疾病登録庁(Agency for Toxic Substances and Disease Registry, ATSDR)
米国環境保護庁ChemViewデータ ベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)
米国環境保護庁(Environmental Protection Agency)
急性ばく 露ガイド ラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フード リ サーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データ ベース
国際統一化学情報データ ベース(IUCLID)
日本政府によるGHS分類
オースト ラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータ ベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド 化学物質分類・情報データ ベース(CCID)
国際経済協力開発機構(International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD)の環境、保健及び安全に関する出版物
国際経済協力開発機構(International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD)高生産量化学物質プログラム
国際経済協力開発機構(International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD)スクリ ーニング情報データ セット
国際連合世界保健機関(World Health Organization, WHO)

免責事項
このデーターシート は作成時における最新情報に基づいて作成さ れています。し かし ながら 記載さ れている内容は情報提供であり 、その正確性あるいは完全性に関し ていかなる保証をなすものではありません。。

安全データシート のおわり